

なかとんべつ 町議会だより

Volume

231

令和7年4月25日発行



第1回定例会議決結果の一覧	3
私たちの一般質問	4
議決審議のあらまし	10
まちなか議会カフェ&議会アンケート	12
第2回、第3回臨時会	13
予算審査特別委員会	14
議員だより	17
議員の活動実績・議会の動き・あとがき	18



令和7年 第1回定例会



令和7年第1回定例会が、3月7日から12日まで6日間の会期で開かれました。



町政執行方針を表明する
小林町長

招集日の3月7日には、諸般の報告、行政報告、副町長の選任、条例（一部改正含む）、令和6年度補正予算などを、原案どおり同意及び可決し散会しました。

3月10日には、小林町長が令和7年度町政執行方針、大島教育長が令和7年度教育行政執行方針を表明、一般質問を通じて5名の議員が町長、教育長の所信を質（ただ）しました。



教育行政執行方針を表明する
大島教育長

本会議休会中の3月11日～12日に令和7年度各会計予算案を全議員で構成する「予算審査特別委員会」（高橋憲一委員長）で審査。委員会審査を経て、再開された本会議で全8会計（10議案）予算を原案どおり可決、全日程が終了し3月12日に閉会しました。

- ① マイナ保険証について
- ② 中頓別学園の本体工事、二度目の入札不成立を受けて
- ③ 中頓別学園の整備には一体いくら必要なのか？町民のための一大事業、財政の見通しと町にとって意味の大きいものに
- ④ 町の声に対しては？
- ⑤ 自然環境保全について
- ⑥ 町政執行方針から観光振興について
- ⑦ 財政シミュレーションの困難さと中頓別学園建設について
- ⑧ ICT教育の現状と問題点について
- ⑨ 中頓別学園構想の学校の運用について
- ⑩ 物価高騰による町民の家計の状況について
- ⑪ 人件費、物価高騰に対する対応について

①（細谷議員）

②③④（宮崎議員）

⑤⑥（長谷川議員）

⑦⑧（高橋議員）

⑨⑩⑪（蓮尾議員）

5議員が一般質問

第1回定例会で 決まりました



議決結果の一覧

☒ 同意第1号 副町長の選任同意

※ ☐ は同意

☒ 議案第5号 住宅改築促進事業補助金交付条例

☒ 議案第6号 带状疱疹ワクチン予防接種費用助成に関する条例

☒ 議案第7号 いじめの防止等に関する条例

☒ 議案第8号 語学指導等を行なう外国青年の給与等に関する条例（一部改正）

☒ 議案第9号 国民健康保険税条例（一部改正）

☒ 議案第10号 職員給与条例（一部改正）

☒ 議案第11号 水道事業条例（一部改正）

☒ 議案第12号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

☒ 議案第13号 令和6年度一般会計補正予算

☒ 議案第14号 令和6年度自動車学校事業特別会計補正予算

☒ 議案第15号 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算

☒ 議案第16号 令和6年度国民健康保険病院事業会計補正予算

☒ 議案第17号 令和6年度水道事業会計補正予算

☒ 議案第18号 令和6年度下水道事業会計補正予算

☒ 議案第19号 令和6年度介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

☒ 議案第20号 令和6年度介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算

☒ 議案第21号 令和6年度介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

☒ 議案第22号 令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

※ ☐ は原案可決



議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、6月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

多くの町民のみなさまの傍聴をお待ち申しあげております。

ここが聞きたい、
知りたい

私たちの一般質問

第1回定例会は、町長が令和7年度における町政執行方針、教育長が令和7年度における教育行政執行方針をそれぞれ表明。5議員が一般質問を行いました。

細谷久雄 議員



質
問

マイナ保険証について

昨年の12月2日から、健康保険証の「紙」による新規の発行を取りやめ、マイナンバーカードと健康保険証の機能を持たせた「マイナ保険証」に一本化されました。そこで伺います。

①「マイナ保険証」へ移行しましたが、行政として町民に丁寧な説明と啓発が必要であると考えますが、行政の取り組みについて伺います。

②この制度のメリット・デメリットをどのように考えているのか伺います。

③医療・介護施設に入っていて、外出や認知行動ができない状態の被保険者に対しては、どのような対応がなされるのでしょうか。職権交付、もしくは代理人申請について伺います。

④マイナ保険証を持たない町民には資格確認書を発行するとなっていますが、それは高齢者、障がい者、自分で申請できない人たちを切り捨て、医療にかかりにくい状態を生み出すことにもなりかねません。
住民の命・健康を守る立場にある行政としてこうした動きにどう対応しようとしているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

①当町では前年度保険証の更新時に合わせた周知のほか、11月の旬報及び広報、窓口でご案内と周知を実施してきました。現在の健康保険証が有効期限を迎える前に、マイナ保険証を利用していない方等を抽出調査により把握した上で、その方々を対象に資格確認書の一斉交付を予定しています。

②メリットでは、医療機関相互の保険情報共有の迅速化、高額医療費における限度額認定証の一体化があります。また、病院での手続きがスムーズになることで受診した際の待ち時間が短縮されます。

デメリットでは、システムエラーが発生した場合に医療機関によって利用できない場合がある。個人情報漏洩のリスク、再発行に時間がかかること、紛失した場合に使えないことなどが挙げられます。利用の際の不具合などについては、町民からの相談には迅速に対応していきたいと考えています。

③医療機関・介護施設に入所されている方でも本人による手続きが原則ですが、ご本人に代わり親族、代理人、後見人等の方々が手

続きをすることが可能です。

④医療機関の保険者は、マイナ保険証を利用せず本人からの申請がない場合であっても職権で資格確認書を交付することになっており、医療保険が利用できないという状況を生まない仕組みとなっています。



宮崎泰宗 議員



質
問

中頓別学園の本体工事、二度目の入札不成立を受けて

中頓別学園の本体工事に係る二度目の公告が行われ、前回辞退の企業体が参加した結果、不落となった状況である。今回は予定価格を伏せたことで、最低価格を入札し、その後の随意契約を目指す企業が複数あってもおかしくはなかったと思うが、他に参加企業が出てこなかった要因は何か。

一者のみとなった今回の結果から、町としてはおよそ46億円と定めた建設費をさらに増額し、当該企業との随意契約を想定しているようだが、数億円というような大幅に金額を変更する考えであるなら、それを予定価格とする再度の入札を実施する必要があるのではないか。

そもそも町内外、他の企業が今回の入札から随契への流れを知り得ることはできたのか。

一度は公表されている予定価格のイメージもある中で、特定の企業以外には町の考えが十分に行き渡らなかった可能性もあると思うが、この点についてはいかがか。

このような進め方に対しては官製談合等が疑われることになりかねないという声もあり、町との取引関係がある議員も多くなっていることから、兼業規定に関わる可能性や、公平・公正な審議が行える状況か、行政として確認する必要があると思うが、本工事が実施される場合、町外企業と町内企業が

施工する割合は如何ほどになるのか。

答 弁 ○小林町長

2回目の入札に際しては、新たな参加企業があることも期待したところだが、結果として1社のみの参加となった。この要因を断定することは難しいが、全道的な建設需要が伸びている中で地理的な条件や設備や電気などの事業者を確保して受注することが相当に困難になっているなどの事情が働いたのではないかと推察している。

契約締結までのスケジュールもあり、設計を大きく変更してから入札することではできなかったが、今回は工事契約に向けて公正を期す観点からも再度入札を行うことが最善と判断してのことであり、これ以上の入札は実施せず、契約に向けた取り組みを進めていきたい。

最初の入札の中止と二度目の入札については、予定価格の取り扱いを含め報道等で業界にも情報は伝わっていたものと考えている。検討して頂いた企業もあったと思うが、結果として参加するには至らなかった。

工事契約の締結に向けて公正さの確保を重視して取り組んできているが、町議会議員の関わりについては、議会において厳格に法の順守を徹底されているものと考えている。これまでも議員が関与して不適切な取扱いがなされ

た事例はないものと認識している。企業体の出資比率としては、町外企業が70%、町内企業が30%という割合だが、できるだけ町内の経済循環の活性化を考慮していただこう、受注者に協力を求めていると考えている。



質 問

中頓別学園の整備には一体いくら必要なのか？
町民のための一大事業、財政の見通しと町にとって意味の大きいものに

中頓別学園の建設は、現小学校を活用するものでありながら、46億円もの予算措置でも到底足りない内容だったことになるが、大幅な増額を余儀なくされるようでは、これまでの説明には欠かせないものであった。学校以外にも複数の機能を集約する割安感や、そ

のデザイン性に対しての疑問視もせざるを得ない。実際に今回の入札額からも、事業者の実勢とはかけ離れていたことが窺えるが、さらに一体いくらの増額をしようとしているのか。

町の実質負担額は16億5千万円ほどになるとのこと、およそ13億円と説明されていた直前の町民説明会での内容を簡単に3億円以上も覆すものであるが、この原因となる50億円近い巨額過疎債の配分見込み、義務教育費交付額の増減、本町財政の命綱である基金の取り崩し、想定を超える建設費を投入するつもりなら、町民の血税、財産を扱う行政として、この学校建設が将来の財源不足を招き、町が倒れるようなことにはならないという、現実的な試算と納得に足る根拠を示していただきたい。

また、中頓別学園の建設は町外企業に莫大な費用を納めるための事業なのか。これまで高くても10億円規模の経験しかない本町で、今や60億円規模にまで膨れ上がろうとしている小さな町の未来を大きく左右してしまうような大事業である。町財政が疲弊し町内経済への恩恵も最小限となって町が倒れたら学校も運営できなくなってしまうが、飲食や宿泊など、中頓別学園の整備事業において今後の本体工事などではいくらの町内消費、波及効果がもたらされるのか。

答 弁 ○小林町長

中頓別学園の設計については、類似の建築も少なく比較は難しいところであるが、決して高額な設計単価になっているわけではないと認識している。

また、別途購入等が必要となる家具等をできるだけ少なくするために家具や什器類を建築で加えているが、施設が多機能化を図ったことによって設計がより複雑化して著しく単価を押し上げる結果にもなっていないとの捉え方である。契約額としては、今段階での設定額46億3,200万円から約7億円増額し、53億2,700万円とする債務負担行為の再設定を考えている。

建設費に充当する過疎債の借り入れについては、公共施設マネジメント特別分の対象となり配分となる予定である。普通交付税も現状と比較して増減がないものと試算している。学校建設に係る事業費を少し多めに見て23年（据置3年）で償還することを想定すると、後年度の地方債償還額で普通交付税措置されない町の実質負担額は16億5千万円ほどとなるが、そのうち6億円について基金を充て、残り約10億5千万円を年5千万円程度として償還するなど、財政への影響は限られた範囲に抑えることができると考えられる。

今回の建設工事が、どの程度町内経済に及ぶか現時点で見通せないが、少しでも多く波及できるよう、契約が整

った場合、速やかに事業者と協議していく。

質 問

町の声に対しては？

今や町内でも心配の声が多く上がっている不登校やいじめの状況についてはいかがか。不登校の要因に関する直近の調査では、学校での人間関係が多くを占めているとの結果も出ており、不登校の状態にある小中学生が全国では34万人とも言われ、中頓別も例外ではなくなっている。小中高生の自殺者も過去最多を更新するという深刻な状況が続いていることから、人の命に係わるような状況が解消されていない状態で環境を大きく変えることにもリスクがあるのではないか。

また、学校の統廃合の新たな形とされたこの義務教育学校自体、すでに各地で設立されており、もう目新しいものでもなくなっている印象であるが、リーダーシップや自主性が失われるという、目指す教育と矛盾するデメリットを秘めていることなどから強い反発もあるようで、署名やアンケート調査で反対の声が多く確認されたことから、計画を白紙に戻した自治体もある。本町としても、本体工事の額を45億円として実施した、前回のアンケート調査

とは明らかに様子の違う今回の議会アンケートや議会カフェで確認された住民の声を無視するわけにはいかないと、思うが、町としての最終判断には影響しないのか。

答 弁 ○大島教育長

不登校に関する2024年の調査で児童生徒が訴える原因のトップ3は、「不安を抑うつ、体調不良」、次に「教職員との関係」、その次が「いじめなどの人間関係トラブル」となっている。トップ3の原因は、コロナ禍以降に急激に増えている。大人が経験したコロナ禍と、成長発達期にコミュニケーションや体験活動を制限された児童生徒の影響は大きく、長期的なフォローが必要な世代だと言われている。

最新の自殺率のデータによれば、10代の自殺率も令和に入ってから増えているが、より急激な上昇を示しているのは40代50代の自殺率であり、どの世代も未来を描きにくい社会になっている。そんな時代だからこそ、多世代が交流し学び支え合う、人生100年の学びの拠点の役割は大きいと考えている。

答 弁 ○小林町長

町民説明会でのご意見や感想の中でも、将来の財政上の心配が寄せられており、建設事業そのものに関する議会

アンケートや議会カフェでのご意見も、重く受け止めなければならぬと思う。一方、この機会に人生100年の学びの拠点・中頓別学園構想を進めることに對しての期待も届いている。これまでの説明が足りていなかったことを率直に認めつつも、他の選択肢よりも将来的な財政負担は少ないと判断している。大きな事業費であることは間違いないが、これ以上は削れないところまで事業費を抑えている認識であり、今計画している事業を進めることが町民にとつての利益と考えている。今後も説明の機会を設け、心配される声にも耳を傾けて丁寧に説明を行っていきたいと思う。



長谷川 克弘 議員



質問

自然環境保全について

町政執行方針で述べられている、環境「美しい自然を守り共生する町」について伺います。エゾシカなど有害鳥獣対策により相当数の捕獲駆除が行われていると思うが、依然町内各所でエゾシカを道路沿いなどで目の当たりにするが、わが町における捕獲数に鑑み、中頓別町鳥獣被害防止計画との整合性について伺う。

また、有害鳥獣駆除後、処理施設に持ち込まれる際の運用管理、特に衛生管理体制について伺う。

答 弁 ○小林町長

本町におけるエゾシカの捕獲頭数は、令和6年度も692頭となっております、

特に近年は若手捕獲従事者が増えていることなどから捕獲頭数は増加傾向が続いています。

令和元年度以降のエゾシカライトセンサスの結果では、確認数も徐々に増加傾向にあり令和6年度では前年度の約3倍ほどの数値となっている。このような状況を受け、捕獲頭数目標を500頭から令和6年度に700頭に變更してきているが、生息数の抑制が進まない限りは、農林業被害や交通事故を抑制するには至らないと感じています。単に本町だけで解決できるものではなく、宗谷管内はもとより全道的な対策が必要であると認識しています。有害鳥獣処理施設は平成26年から運営を開始し10年が経過しています。

当初計画では500頭程度の処理を想定してスタートしましたが、近年の捕獲頭数の増加により捕獲が集中する時期によつてはフル稼働となっている状況にあると見受けられます。処理方法が微生物菌を活用した発酵処理であるため、発酵熱が奪われると処理が思うように進まないため臭気が発生するなど衛生上の課題も生じています。設備や作業機械等の修繕にかかる経費も増加傾向にあることから、開設当初から技術指導を受けている専門業者と相談していく。

質問

町政執行方針から観光振興について

町政執行方針では、「道の駅来訪を契機として町内その他観光施設の利用が促進される取り組みの実施」とおっしゃっておりますが、道の駅ピンネシリ等、敏音知地区を拠点とした観光施設の利便性向上対策や道の駅へ寄りたなどと思っただけのような誘導方法などの対策についてどのようにお考えか。

また、そのことに伴い観光振興計画の整合性と検証見直し等についても併せて伺う。

答 弁 ○小林町長

道の駅を中心とした敏音知の観光施設では、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に様変わりした観光情勢に対応するため、主に近郊の方をターゲットに設定し、目的地となる観光施設を目指した施策を実施しています。一例としてオリジナル商品の開発・販売や山菜などの季節商品の販売、ドッグランの開設とイベント実施などが挙げられます。

現在の日本の観光情勢としましては、旅行機運の上昇に加え海外客も回復基調となり、都市部や有名観光地の一部

ではオーバーツーリズム対策が必要となってきたと考えています。しかしながら、道北エリアにはそのような効果は、それほど波及していないと考えますので、観光情勢を随時確認しつつSNS等での情報発信も交えながら現在の方針を踏襲した施策を実施していきます。

なお、これらの取り組みは、中頓別町観光地域づくり振興計画に基づいた施策であるべきですので、平成29年度に10年間の計画として策定した当計画について検証し、必要な項目については現在の観光情勢に沿った方針・施策となるよう当該計画の修正を行います。



高橋憲一議員



質問

財政シミュレーションの困難さと
中頓別学園建設について

学校建設に伴う入札不調は建設費の高騰が原因なわけですが、一方、町財政が物価や人件費の高騰の影響を受け、財政収支の悪化が昨年あたりから顕著になっていると思います。

一方で物価上昇に伴う、普通交付税の増額の見通しは立っておらず、国の緊縮財政のもとで、今後の町の運営にも重大な懸念が生じかねない状況だと思えますが、町長の見解をお伺いします。

また、不透明な国の財政状況を考えてときに、財政のシミュレーションを長期にわたって示す事は困難な状況だと思えますが、だとしたら巨額な投資が必要な建設予定の学校についても、

しばらく状況を注視した方が良いと思いますが、いかがですか。

答 弁 ○小林町長

令和7年度の地方財政計画では地方交付税の出口ベースで1.6%の伸びとなっており、物価高騰や施設管理費、委託料の増加を包括的算定経費に加えることとなっていますが、不確定要素もあり当初予算には見込んでいません。学園建設事業は、今後も建設費の上昇が続いていく見込みとの考えから、将来負担が増える予測を考えて、計画通り進めることが最善と考えています。

質問

ICT教育の現状と問題点について

本町でも、児童生徒に一人一台のタブレットの支給によるICT教育が始まっているわけですが、教育のデジタル化が進む中で、さまざまな問題点も浮き彫りになってきています。2010年からICT教育に取り組んだスウェーデンは、昨年アナログ教育に転換すると表明しました。

また、日本の脳科学者によるスマホやタブレットの使用に伴う脳の発達障害が発生するという研究結果も発表されています。



このような中、わが町の数少ない子供たちが、文科省やデジタル業者のモデルモットにならないように最善を尽くしてほしいと思いますが、お考えを伺います。

答 弁 ○大島教育長

中央教育審議会が次期学習指導要領の実施に合わせて、デジタル教科書を正式な教科書として、紙とデジタルの融合を認め、双方の利点を活かした学習の効果が期待されます。

また、「児童・生徒の発達段階、学校の実態に応じて検討する事が重要」として小学校低学年への導入は慎重に検討することとされています。

本町においても、全国と同様に視力の低下の原因として長時間のタブレット端末、ゲーム機等の使用が考えられます。スマホやSNSは脳の報酬系を刺激して依存させ、集中力を低下させるとの論説もあります。

蓮尾純一議員



質問

中頓別学園構想の学校の運用について

アンケートの結果や懇親会の結果からは、未だ多くの町民から疑問点が多く出ており、理解が進んでいないため周知が必要だと感じています。今後の対応方針をお伺いします。

フリースクールについて、学園への移行後の対応、9年生になる場合の教員配置の予定状況、説明会資料にある建て替え試算の根拠をお伺いします。

答 弁 ○大島教育長

反対意見に向き合い、堅苦しくない形式での雰囲気懇談会のような場を設けていきたいと考えています。

フリースクールについては、回数や

場所を固定せず、状況に合わせ柔軟な対応を行いたいと考えています。

教員配置については、移行後も教員は継続して勤務となります。小中免許がない場合は、教科外での部分で関わるような形を検討しています。建て替え試算の根拠は学校以外の部分については、建て替え後の面積を根拠にはしておらず、現在稼働している施設の規模と同等の面積から試算しています。

質問

物価高騰による町民の家計の状況について

物価高騰による影響が町民の家計を圧迫しています。政府による財政出動もされていますが、もともと物価が高く、世帯当たりの平均所得も高くはない当町において町民が疲弊しており、生活コストの掛からない地域への転出を検討されている方も始めております。現状について行政としてはどのように考えているか、今後何らかの対応を行う予定はあるのかお伺いします。

答 弁 ○小林町長

現在、高齢者の医療費、交通費等の助成のほか、プレミアム商品券事業を生活支援として行っております。高い水準ではありますが、上下水道の利用

料についても引き上げも行わず抑えております。

しかし、これらの施策の見極めが必要かもしれないと考えております。国からの財源がない場合において町単独での物価高騰対策施策を行うことは容易ではありません。現時点では新たに施策を実施する予定はありませんが、施策の見直しや拡充について検討します。

質問

人件費、物価高騰に対する対応について

北見市において、物価高騰や人件費高騰による財政危機が起きていると報道されています。

本町における財政見込みについて、同様のケースとはならないのか見直しをお伺いします。

今回の学園構想の建設に係る歳出は財政に対し、どの程度負担を掛けるのか。建設された後のランニングコストも考慮した試算となっていて、財政の見込みに反映されたものになっているのかも伺います。

歳入の増加に関わる件として、町内での建設が予定されている風力発電について現在の町長の考えをお伺いします。

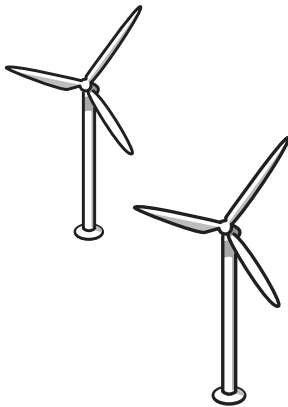
答 弁 ○小林町長

物価高騰に対し国からの歳入は今後1.6%伸びることが見込まれますが、過大な期待はせず歳出改革の努力を行います。

また、病院の運営、介護施設の運営に関する負担が大きいことから、地域医療体制と地域包括ケアの一体的な見直しを前倒しして早急に取り組みなくてはならない状況になったと考えています。中頓別学園建設に伴う負担については借入の償還期間を長くすることで単年度負担の緩和を図るため財政への影響を抑えられると考えています。

ランニングコストについても、施設が一体となることからコストの縮減に繋がると考えています。

風力発電については、現在のところ中立の立場です。国内における電力需要が伸びていく中、風力発電に対する評価はしているところです。自然環境への影響なども考慮し検討しますが、歳入を増加させるための判断は考えていません。



質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



議決審議のあらまし

第1回定例会では、新年度予算など28議案を審議しました。

令和7年度各会計予算は、予算審査特別委員会（高橋憲一委員長）に付託して審査され、全会計原案どおり可決しました。

令和6年度各会計補正予算とその他の条例改正案等は本会議で審議され、すべて原案どおり可決しました。

3月7日議決

○議案第5号 住宅改築促進事業補助金交付条例

リフォームを行いたいと考えている町民に助成を行うため制定するもの。

○議案第6号 带状疱疹ワクチン予防接種費用助成に関する条例

町民の費用負担を軽減し、带状疱疹の発症及び罹患後の重症化や合併症の防止を図るため制定するもの。

○議案第7号 いじめの防止等に関する条例

いじめ防止に向けた地域全体としての責務や役割を明確化し、改めていじめ防止に関する対策を総合的かつ効果的に推進していくため制定するもの。

○議案第8号 語学指導等を行なう外国青年の給与等に関する条例（一部改正）

令和7年4月1日付けで報酬額が改定されることや所得税等の負担のあり方について、改正を行うもの。

○議案第9号 国民健康保険税条例（一部改正）

一部を改正する政令が公布されたことに伴い、一部改正するもの。

賦課限度額の引き上げ（基礎賦課分を1万円、後期高齢者支援分を2万円それぞれ引き上げ）、低所得世帯の保険税の減額（5割軽減基準1万円、2割軽減基準1万5千円それぞれ引き上げ）

○議案第10号 職員給与条例（一部改正）

人事院勧告では、民間給与との比較に基づく給料表の改定のほか、社会や公務の変化に応じた給与制度の改正が勧告されています。

改正の内容は、給料表の切替え、扶養手当の廃止及び拡充、再任用職

員に対する手当の拡充を行うもの。

○議案第11号 水道事業条例（一部改正）

水道法及び水道法施行規則の改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格について改正を行うもの。

○議案第12号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

本計画に登載している事業について、令和6年度から令和10年度までの計画期間における事業費及び辺地対策事業債の予定額が計画額を上回る見込みとなったことから、計画の変更を行うもの。

○議案第13号 令和6年度一般会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ2億3千359万円を減額し、予算の総額は4億4千434万円に。
決算見込に基づく追加、減額のほか、国保病院に対する繰入金5千715万円を追加して病院費総額を2億9千702万円とするもの。

○議案第14号 令和6年度自動車学校事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ98万円を減額し、予算の総額は5千97

4万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

○議案第15号 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ4千653万円を減額し、予算の総額は2億4千385万円に。
主に、一般被保険者療養給付費3千194万円を減額するもの。

○議案第16号 令和6年度国民健康保険病院事業会計補正予算

病院事業収益は、収入で外来収益を3千393万円を減額。一般会計繰入金として1億3千812万円を追加し、繰入金総額3億7千672万円に。予算総額は6億1千665万円に。他の支出は、決算見込に基づく追加、減額するもの。

○議案第17号 令和6年度水道事業会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ1千414万円を追加し、予算の総額は1億8千466万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

○議案第18号 令和6年度下水道事業会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ923万円を追加し、予算の総額は1億3千710万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

○議案第19号 令和6年度介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ9千円を追加し、予算の総額は2億6千315万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

○議案第20号 令和6年度介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ398万円を減額し、予算の総額は5千873万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

○議案第21号 令和6年度介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

歳入歳出の総額からそれぞれ2千104万円を減額し、予算の総額は2億649万円に。
決算見込に基づき追加、減額するもの。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会** へ進みご覧ください。

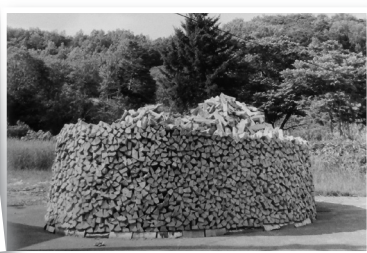
議会はみなさんの暮らし、福祉などの身近な問題を議論する大切な会議です。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、
Tel6-2244（議会事務局）へ。

○議案第22号 令和6年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算
歳入歳出の総額からそれぞれ120万円を減額し、予算の総額は3千552万円に。
決算見込に基づき減額するもの。

あなたの写真を表紙にしませんか？

中頓別町議会では、町民の皆様が撮影した写真の募集をはじめます。応募いただいた中から選考し「なかとんべつ町議会だより」の表紙とさせていただきます。



応募資格 中頓別町在住の方

募集内容 人物、風景など中頓別町で撮影したもの。中頓別町の魅力や元気が出る写真を募集します。

応募方法 下記アドレスに、件名を「なかとんべつ町議会だより表紙写真」と書き、連絡先（電話番号、氏名、住所）を記入の上、写真を送付してください。



gikai@town.nakatombetsu.lg.jp

募集は随時しております。不明な点は議会事務局（6-2244）まで連絡してください。

まちなか議会カフェ&議会アンケートの報告

まちなか議会カフェ（場所 モトマツダ）

○令和7年2月2日（日）13:00～17:00

- ・参加町民 11名
- ・出席議員 6名
（星川議長、西浦副議長、宮崎議員、長谷川議員、吉田議員、蓮尾議員）

○令和7年2月9日（日）13:00～17:00

- ・参加町民 8名
- ・出席議員 6名
（星川議長、西浦副議長、宮崎議員、長谷川議員、高橋議員、吉田議員）

○令和7年2月16日（日）13:00～17:00

- ・参加町民 18名
- ・出席議員 5名
（星川議長、宮崎議員、高橋議員、吉田議員、蓮尾議員）

※参加していただきました町民の皆様、貴重な意見をありがとうございました。



中頓別学園構想に係るアンケート結果

○回収世帯 139世帯（305人）

（内訳：0～小6 39人、中高 16人、10代（学生除く）2人、20代 9人、30代 36人、40代 49人、50代 45人、60代 39人、70代 49人、80代以上 21人）

- ・問3 学校建設について
理解している 117人 理解していない 130人 興味がない 35人
- ・問4 義務教育学校について
理解している 108人 理解していない 138人 興味がない 36人
- ・問5 生涯学習拠点について
理解している 98人 理解していない 143人 興味がない 41人
- ・問6 予算規模や建設費の増額、借入について
理解している 109人 理解していない 131人 興味がない 37人
- ・問7 説明会について
参加した 57人 参加していない 181人
説明会の存在を知らない 43人

※全体人数と集計人数の誤差は未記入世帯となります。

※その他の意見につきましては、議会事務局で閲覧できます。

※アンケートのご協力ありがとうございました。

令和7年3月13日及び3月24日に臨時会を開催し、中頓別学園建設工事の予算の引き上げ、工事請負契約の締結は討論となり、賛否は両日とも賛成4・反対3で可決となっています。

令和7年第2回臨時会では、主に中頓別学園建設工事の債務負担行為上限額を4億5,751万1千円から53億2,730万円に引き上げる一般会計補正予算の審議を行いました。
全議員が討論を行った結果、下記のとおりとなりました。



令和7年第2回臨時会（3月13日）

結果	蓮尾	吉田	高橋	長谷川	宮崎	細谷	西浦	星川	賛否の公表
可決	×	○	×	○	×	○	○	/	

令和7年第3回臨時会では、主に中頓別学園建設工事の請負契約の締結についての審議を行いました。
議員が討論を行い、反対討論のみとなり賛成討論はありませんでした。
結果は下記のとおりとなりました。



令和7年第3回臨時会（3月24日）

結果	蓮尾	吉田	高橋	長谷川	宮崎	細谷	西浦	星川	賛否の公表
可決	×	○	×	○	×	○	○	/	

令和7年度 8会計予算成立

～総額79億3,075万円～



予算審査特別委員会（高橋憲一委員長）

一般会計をはじめとする令和7年度8会計予算案は、全議員で構成する「予算審査特別委員会」（高橋憲一委員長）に審査を付託。
特別委員会では、3月11日～12日に審査を行い、原案可決。
12日に再開された本会議で高橋委員長から報告され、審議の結果、委員長報告のとおりすべて原案可決されました。

令和7年度予算編成内容

本年度の予算総額は、79億3,075万円で前年度比13億179万円（19.6%）の増額となりました。一般会計は、前年度比12億7,303万円（28.1%）の増額であります。

歳入では、大半を占める地方交付税は町債借入れの増加に伴う公債費の増などを踏まえ、前年度比4,619万円の増額としています。国庫支出金では、公立学校施設整備費負担金など中頓別学園整備にかかる予算計上により1億1,297万円の増額、繰入金では、対象事業費の増加による地域活性化基金繰入金増などにより2,637万円の増額、町債では、過疎対策事業債の増などにより9億6,674万円（うち中頓別学園整備事業8億3,340万円）の増額となっています。

歳出では、人件費において人事院勧告による給与増により6,113万円の増額となりました。繰出金では、施設介護サービス事業会計繰出金などの増により4,835万円の増額となりました。普通建設事業費では、中頓別学園建設工事の計上などにより、11億4,080万円の増額となりました。

■各会計予算の状況

（単位：万円）

年 度 別 会 計 別		令和7年度 予 算 額	平成6年度 予 算 額	比 較	
				金 額	率%
一 般 会 計		58 億 0,542	45 億 3,240	12 億 7,302	28.1
自動車学校事業特別会計		5,976	5,943	33	0.6
国民健康保険事業特別会計		2 億 3,509	2 億 8,943	▲5,434	▲18.8
国民健康保険 病院事業会計	収益的収支	6 億 0,295	5 億 7,417	2,878	5.0
	資本的収支	1,714	2,678	▲964	▲36.0
水 道 事 業 特 別 会 計	収益的収支	1 億 4,118	1 億 5,786	▲1,668	▲10.6
	資本的収支	1 億 6,063	1 億 3,507	2,556	18.9
下 水 道 事 業 特 別 会 計	収益的収支	1 億 2,254	1 億 2,755	▲501	▲3.9
	資本的収支	1 億 9,960	1 億 9,048	912	4.8
介護保険事業 特 別 会 計	保険事業勘定	2 億 5,555	2 億 5,997	▲442	▲1.7
	介護サービス事業勘定	6,132	5,977	155	2.6
	施設介護サービス事業勘定	2 億 3,491	1 億 7,932	5,559	31.0
後期高齢者医療事業特別会計		3,465	3,672	▲207	▲5.6
合 計		79 億 3,074	66 億 2,895	13 億 0,179	19.6

■一般会計

歳 入

(単位：万円)

款	7年度	6年度	比 較	増減%
町 税	16,797	16,979	▲182	▲1.1
地 方 譲 与 税	7,752	7,441	311	4.2
地 方 交 付 税	232,790	221,703	11,087	5.0
使用料手数料	8,143	7,456	687	9.2
国 庫 支 出 金	61,014	49,717	11,297	22.7
道 支 出 金	22,179	21,163	1,016	4.8
財 産 収 入	1,519	1,764	▲245	▲13.9
繰 入 金	33,546	30,909	2,637	8.5
諸 収 入	13,733	14,539	▲806	▲5.5
町 債	168,771	72,097	96,674	134.1
そ の 他	14,298	9,472	4,826	51.0
合 計	580,542	453,240	127,302	28.1



歳 出

(単位：万円)

款	7年度	6年度	比 較	増減%
議 会 費	5,160	4,887	273	5.6
総 務 費	94,108	97,023	▲2,915	▲3.0
民 生 費	39,967	42,128	▲2,161	▲5.1
衛 生 費	49,843	49,103	740	1.5
労 働 費	909	546	363	66.5
農 林 水 産 業 費	45,077	46,187	▲1,110	▲2.4
商 工 費	23,947	15,723	8,224	52.3
土 木 費	63,255	69,532	▲6,277	▲9.0
消 防 費	13,385	13,353	32	0.2
教 育 費	168,022	47,458	120,564	254.0
公 債 費	56,899	52,086	4,813	9.2
諸 支 出 金	19,920	15,164	4,756	31.4
そ の 他	50	50	0	0
合 計	580,542	453,240	127,302	28.1



予算計上された主な臨時事業

(単位：万円)

科目・会計	臨時事業名	事業費	主な事業内容
総 務 費	女性・若者活躍推進事業	1,920	地方創生推進協議会の運営、人口構造の再構築、コミュニティの再構築
	町民活動支援・展開事業	1,713	モトマツダ維持管理運営経費、町民活動支援業務委託料
農 林 水 産 業 費	草地整備型公共牧場整備事業	9,275	哺育育成施設整備
商 工 費	ピンネシリ温泉運営事業	11,571	ピンネシリ温泉改修工事
	なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業	1,674	なかとんべつ観光まちづくりビューロー事業補助、地域おこし協力隊負担金
土 木 費	除排雪事業	15,775	除雪トラック購入、除排雪委託料
	秋田原野線交付金事業	8,515	道路改良舗装工事など
教 育 費	中頓別学園整備事業	126,732	学校環境整備アドバイザー業務委託、学校建設工事整理業務委託、学校建設工事（令和7年度分）

予算審査特別委員会 主な質疑&答弁

○一般会計

歳出

■総務費

問 職員研修事業の中にありますEラーニングシステムの導入について、職員の受講率が数字として出ていると思いますので、それについて教えていただきたいと思っています。

(蓮尾委員)

答 Eラーニングの受講率について回答します。正確な数字は手元にありませんが、月3回一人必ず受講する約束の元に始めている事業です。個人差はありますが、平均すると30%ぐらいになります。これについては、3月終了後お知らせしたいと思っています。

(総務課担当課長)

問 事業に関してのコンサル料で、教えていただきたいのは同事業において、いくらがコンサル料として支払われてきたか。また、今までの成果として成果物がどのような実情になっているのか。行政側として今までどのような結果が生まれてきたと考えているのかをお伺いしたいと思います。具体的には、スタジオさんの事業をお知らせください。

(蓮尾委員)

答 総合開発事業の中で令和元年度からスタジオさんに関わっていたいて、総合計画などの7つのアクションのフォローアップということで進んでネットワーというところで取り組みました。

計画策定時は1,500万円ぐらいの委託料で進んできまして、令和4年度の

本格的に計画がスタートしてからはフォローアップということで350万円程度が4年度、5年度ありました。総合開発委員会事業の中で保健福祉の取り組みで町民活動もありますので、そのフォローアップ含めて併せて令和6年度は1,500万円の委託料としております。

(政策経営担当課長)

問 企画費の町民活動支援展開事業について伺います。説明資料では、7つのアクションの取り組みとは別に事業をすることになっていきますが、何故別に事業をしなければいけなかったのか。また、総合計画を作った時には7つのアクションが活動されていたと思いますが、今どういう状況になって今後どうされていくのか伺いたいと思います。

(長谷川委員)

答 何故分けたかについてはですが、総合開発委員会事業でしたので、なかなか町民活動に事業名としては繋がりにくいところがあつて、今回見直しをかけたことから事業を振り分けた意図でございます。7つのアクションについては、7つのうち6つが皆さん頑張っていたいて、1つのオンライン診療がいろいろな事情でなかなか進展していない状況であります。

(政策経営担当課長)

■民生費

問 子ども包括の関係で質問しますが、職員配置の関係で内情を聞くと新年度からは助産師さんゼロの状態になって、保健師さんも減ってしまうということで、この点新年度に向けて当然採用等を考えて

いると思いますけど、人員確保の状況についてはいかがでしょうか。

(宮崎委員)

答 採用のほうは募集を出していますけど、なかなか来ていただけないところはあります。内部にいる保健師等で割り振りをする。

(保健福祉課長)

問 養護老人ホームの運営事業について、3月末で数名の職員が退職すると聞いていますが、今の人数で余裕がない中で2、3名の職員がいなくなれば、残された職員に負担がかかると思います。今後、人員確保をどのように考えているか伺います。

(星川委員)

答 養護老人ホームに限らず特別養護老人ホームもありますので、採用に関しましては施設長と相談しながら募集をかけているところで、外国人人材も8年度1名予定しております。計画的に北工学園さんに必要な人材を確保していく考えであります。

(保健福祉課長)

問 歯科診療所運営事業の除雪委託料とありますけど、これは民間の方をお願いをしているということですか。

(細谷委員)

答 おっしゃるとおりで民間の方をお願いしていて、前にいた先生から引き継いだ方に依頼しています。

■衛生費

(保健福祉担当課長)

問 委託料は小さいですけど、町の除雪委託している業者があるので、冬の町の除雪は病院や長寿園をやっていますので、

そういうところの業者ができないのか。

(細谷委員)

答 今年度から経費節減で実施しようと思いましたが、交渉までいかなくて来年度に向けて検討していきたいと思っています。

(保健福祉担当課長)

■農林水産業費

問 道営の林道工事も今年で目途が付くと思います。町内業者のためにも早期の事業準備が必要だと思いますけど、今後の新規の道営林道工事について町としてどのように考えているのか伺います。

(細谷委員)

答 森林整備をするに当たって路網整備は重要と考えています。道営につきましては、1年延びて令和7年度には完成しますので、今後道営についても、計画を立てて令和7年度中に1度振興局と現場等を確認しながら早くても令和9年度から進められるように考えています。

(産業課担当課長)

問 草地整備型公共牧場整備事業についてお聞きします。先ほどの説明で機械等が導入予定で令和8年度から開業になる予定ですけど、どこの業者を検討しているのか伺います。それに併せて説明資料で預託頭数276頭と書いてあります。276頭が入らなければどうなるのか。集まる見込みなのかお聞きします。

(星川委員)

答 まず運営開始ですが、道営の事業でするので作業機械の発注も道になります。仕様も今詰めている段階でこれから発注作

業となります。令和8年3月が事業完了と聞いていますが、具体的に機械がいつ頃入るかの確認はまだできていないので供用開始時期が未確定となっています。

令和8年度から供用開始をしたいと考えていますので、今年については乾牧草を取り上げる計画で予算化をしている。利用に当たっては、月12頭で22カ月使用してトータル276頭を入れる運営計画で当初からスタートしています。計画当初から年数も経って地域の酪農家の戸数も減少している中で、アンケート調査もしていますが今現時点で改めて調査をしている最中でございまして、複数から利用希望が出されています。

(産業課長)

予算審査特別委員会

【審査意見】

① 水道事業会計の漏水の件で、浄水場が新しくなったにもかかわらず機器が無駄に働いていることになり、漏水が元で機器の寿命が短くなることも懸念されるので、効率的な運用を求めるものである。

② 委託業務が増加している中で、積算の自身が不透明な点も多い。今回、説明資料が簡素化されているが、この点や説明員が口頭のみで伝えている実績からの予算の増減、割合、新しい事業などポイントになる部分を資料に加えることを望むものである。

議員だより ～私の思い～

このコーナーは、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて、思いを綴るものです。

『中頓別学園について』

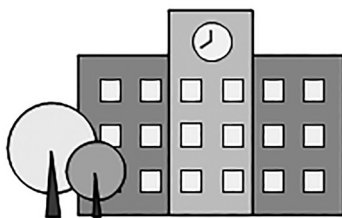
長きにわたり議論されてきた中頓別学園建設工事について、3月13日では一般会計補正予算により債務負担行為上限額を53億2,730万円に、また、3月24日では工事請負契約の締結を予算同額で臨時会により議決をしました。これにより、予定通り建設工事は進んでいくことになります。

臨時会では、賛否が4対3と両日とも割れていたことからわかるとおり、議員内でも非常に困難な判断をしなければならぬ状況となりました。

町民の中にはこの判断に納得されていない方もいると思いますが、この間、町長や教育長など行政側からも何度も丁寧な説明をしていただき、何度も議論を重ね、各議員も考えた末の判断をしておりますのでご理解いただければ幸いです。

最後に、「中頓別学園構想に係るアンケート」及び「まちなか議会カフェ」に多くの町民に参加いただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

(綴人 星川 三喜男)



議会の動き

令和7年

1月

24日 大崎上島町歓迎会

2月

2日 まちなか議会カフェ
 4日 北海道電力との打合せ
 9日 まちなか議会カフェ
 16日 まちなか議会カフェ
 19日 議会運営委員会
 25日 議会運営委員会

3月

7日 第1回定例会
 9日 中学校卒業式
 10日 第1回定例会
 11日 予算審査特別委員会
 12日 予算審査特別委員会
 21日 南宗谷消防組合議会（枝幸町）
 南宗谷衛生施設組合議会（浜頓別町）
 22日 小学校卒業式
 27日 こども園卒園式

4月

1日 自治記念式、こども園入園式
 7日 議会広報編集特別委員会
 8日 中学校入学式
 10日 小学校入学式
 14日 議会広報編集特別委員会
 16日 宗谷管内町村議会議長会定期総会
 （稚内市）

発行 中頓別町議会
 編集 議会広報編集特別委員会
 お問合せ 〒098-5595
 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
 tel (01634) 6-2244 (直通)
 fax (01634) 6-1155

まちなか議会カフェ

のお知らせ

①令和7年4月30日（水）
 18:00～20:30

②令和7年5月17日（土）
 13:30～17:30

お気軽にお越しください！

議員の活動実績と一般質問回数

（令和6年4月～令和7年3月）

議員名	会議名		各種委員会等		一般質問回数
	定例会・臨時会		出席義務日数	出席日数	
蓮尾 純一	14	14	16	14	4
吉田 智一	14	14	16	16	1
高橋 憲一	14	14	17	17	3
長谷川 克弘	14	14	17	17	1
宮崎 泰宗	14	14	17	17	4
細谷 久雄	14	14	8	6	4
西浦 岩雄	14	14	25	25	1
星川 三喜男	14	14	17	16	-

（注1）議員名は議席番号順（7番目が副議長、末尾が議長）

（注2）各種委員会等は、議会運営委員会、常任委員会、議会広報編集特別委員会、議会改革特別委員会、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会等を指します。

（注3）一般質問は、定例会（年4回）で行われます。

（注4）一部事務組合議会議員（西浦副議長、細谷議員、吉田議員、蓮尾議員）の日数は含まれていません。

編集後記

物価や人件費が高騰する中、さまざまな面でその影響が深刻なものとなっており、

物価、人件費共に「不足」を起因としたものが多く、根本的な解決は見通せない状況にあります。今後も生活が苦しい、厳しい状況が続くことが予想されます。生活と同様に、中頓別町の財政もシミュレーションによると今後とも厳しい運営が予想され、行政サービスや生活インフラにどの程度影響があるか注視する必要があると見られます。議員として厳しい目で町の財政を見極める必要があると感じています。



安心して穏やかに過ごせる環境の維持に向け議会としても町民の皆さまの意見等を反映させるため、今後議会カフェを定期的に開催することをはじめとして、さまざまな議会改革を行ってまいります。

多くの町民の皆さまに町政に興味を持っていただき、その中でいただいたご意見等を議会へ反映させていただきますので皆さまのご参加のほどよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会（連）